

事務事業名	教育相談充実事業	担当	教育委員会 学校教育課 指導係
政策名	1 「人づくり」～豊かなこころアップ!～	施策名	2 心の教育と健やかな体づくり
成果指標	名称	単位	3 年度実績
	全児童生徒数に対する不登校児童生徒の割合 <small>スクールソーシャルワーカーが相談を受け、改善の見られた児童生徒数</small>	%	3.00
	心理相談員による教育相談件数	人 件	24 790
事業概要	学校支援相談員、心理相談員及びスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒指導及び教育相談の充実を図る。 平成15年度まで、県の委託事業、平成16年度から市の単独事業として実施している学校支援相談員の配置（平成31年度までスクールカウンセラーの配置のない中学校2校、訪問回数のない小学校4校の計6校に5名配置、スクールカウンセラーが全中学校区に配置されたことにより令和3年度より小学校3校に5名配置） 平成20年度から臨床心理士の資格を持つ心理相談員の1名配置、令和元年度からは2名配置 令和元年度からスクールソーシャルワーカーの1名配置		
3 年度実績・成果・課題	スクールソーシャルワーカーや心理相談員への相談要望が増加した。また、学校生活への適応を促す対応策を検討するための知能検査の件数も多かった。そのため、要望に即時的に対応できないケースがあった。		
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 児童生徒にとって必要な時期に、状況に応じた心理面や環境面へのはたらきかけをすることが教育相談にとって有効性が高まる。要望に可能な限り対応するために予算の拡大が必要である。		